暮らしと農がリンクする
都市農業の今を伝えるＪＡ京都市メディア

vol.2

Link

特集

- 京都市の小学校が実施する
  農作業体験をレポート
- 「京やさい佐伯」に見る、
  生産者と消費者の幸せな距離。

JA京都市

特集

上鳥羽のねぎ仙人が伝える、育てて食べて、生きる尊さ

京都市の小学校が実施する農作業体験をレポート

地域の生産者と触れ合いながら農産物を育て、
食べることの尊さを学ぶ。
京都市立上鳥羽小学校が取り組む農作業体験の現場を取材しました。

農業体験　# 食育教育　# 社会貢献

京都市立上鳥羽小学校の農作業体験とは

上鳥羽小学校では、校区内で京野菜の栽培が盛んなことから、平成21年から全学年を対象に農作業体験を行っています。学校内には20㎡の農地、農業用水に利用する雨水タンクや地下水をくみ上げる設備も整備。地元生産者の指導・協力の下、聖護院大根や九条ねぎ、もち米（かぐらもち）などを栽培しています。この日は5年生がもち米の田植えに悪戦苦闘。農作業や生産者との触れ合いを通して、農作物をつくるための苦労やあるものを活かす昔ながらの知恵を知ることは、現代の子どもたちにとって貴重な経験になっています。

未来の「農業サポーター」を育てる

小学生の農作業体験は国の推進事業になっています。多くの小学校が特定の学年を対象とする中で、上鳥羽小学校は全学年に展開している点が特徴。この日も「泥に入るのが気持ち悪かったけど、苗を植えるうちに『元気に育ってほしい』と思うようになった」「収穫が楽しみ、早く食べたい」と、それぞれの気づきや感動を口にしていた子どもたち。地域の生産者と教育機関の強い結びつきから生まれた農作業体験を通して、地域の農業の未来を支え、応援してくれる「農業サポーター」へと育ってくれるはずです。

米や野菜がどのようにできるのかを、体験を通して学ぶ子どもたち。

JA京都市上鳥羽支店の職員も子どもたちの農作業体験を応援しています。

「ねぎ仙人」村田さんの農作業体験指導

この日指導にあたっていた村田治夫さんは、平成15年から同校の農作業体験に携わっています。この日の米づくりの他、九条ねぎの栽培指導も担当。コロナ禍で学校行事が制限される中、村田さんが指導するねぎづくりは、子どもたちにとって大切な思い出になっており、学校での発表会では村田さんをモチーフにした「ねぎ仙人」が登場する劇や、村田さんへの感謝の気持ちを表現した歌も披露されるほど。更に農作業指導だけでなく、京野菜や地域の歴史、道徳などの講話も行っている村田さん。「体験や講話を通して、子どもたちが生きるための目標とか、そのきっかけを見つけてくれたら、こんなにうれしいことはないね」と、自身の生きがいになっていると農作業指導について語ってくれました。

お話ししてくれたのは…

村田治夫さん
JA京都市上鳥羽支部

伝統的な栽培法を取り入れた良質な九条ねぎを長年にわたって栽培。現在は上鳥羽小学校をはじめ市内4校で農作業体験指導にあたるなど、地域貢献にも尽力。

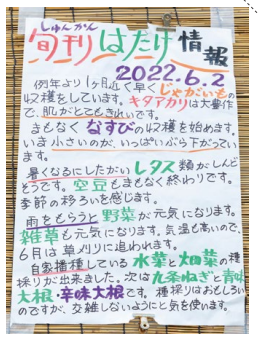
特集

京都市の街中で野菜を育て、販売する。

「京やさい佐伯」に見る、生産者と消費者の幸せな距離。

農薬や化学肥料を使わない有機農法でつくった野菜を、自宅で販売する。
京都の街中で独自のスタイルを貫く佐伯さん親子にお話をうかがいました。

地産地消　# 環境保全　# 京文化



手書きで綴るオリジナルの壁新聞
「旬刊はたけ情報」は毎月3回発行

三里四方の旬を届ける、京やさい佐伯のこだわり

京都市中京区や右京区をはじめ、5つの農地で露地栽培の有機農業を手掛ける佐伯昌和さん。1978年に就農して以来、除草剤や農薬、化学肥料などの使用を段階的に取りやめ、時代に先駆けて有機農業を導入。味はもちろん、虫食いも抑える有機農法を地道に確立してきました。「三里四方の旬※」をモットーとする佐伯さんは、収穫した野菜を自宅で運営する「京やさい佐伯」で販売。軒先での対面式販売は100年前から変わっておらず、「今日も暑いね」「最近畑はどう?」とお客様と店主が気軽に会話を交わす様子は、スーパーやコンビニではなかなか目にすることのない風景です。

※三里、つまり半径約12kmの生活圏の中で採れた旬のものを食べることが健康に良いという考え

京都市の農業を次世代に

息子の農生さんも、共に営農しています。父の背中を見ながら、有機農法を当たり前のものに感じて育った農生さんですが、農業系の大学を卒業して実際に作業を経験してみると、想像以上に手間がかかることに驚いたといいます。それでも「ハウスなどを使用した、一般的な大規模農園だったら継ごうとは思わなかった」と、有機農法に意義を見出す農生さん。増えゆく農地の住宅地への転用や、相続の難しさといった課題がある中でも、京都市内で有機農業を実践する若手生産者として、次世代にバトンを渡すためにはどうすれば良いかを日々考え続けています。

栽培に手のかかる野菜は
自宅近くの畑で育てている（中京区）

京都市内に生産地がある意味

市街地にある佐伯さんの農地のそばは、毎日多くの人が行き交います。近隣には小学校もあり、通りがかった子どもたちから「この野菜なに?」「前よりすごく大きくなった!」と声をかけられることも多いそう。「お米や野菜がどうできているのかわからない子どもが増える中で、市民の生活の場で畑をやることには価値があると考えています」と農生さん。昌和さんも「都市部の農家には、農業のあるべき姿を地域に示す役割がある。私にとってはそれが人と環境に優しい有機農法であり、農業の一番の理想形なんです」と、自身の貫く信念について語ってくれました。

北野天満宮のずいき祭に使用する「ずいき」も栽培している。

お話ししてくれたのは…

佐伯昌和さん（左）、佐伯農生さん（右）
JA京都市朱雀野支部

市内を中心に京野菜を含む約70種の野菜を有機農法で栽培。
また、ずいき祭りの運営に先祖代々携わっている。

京やさい佐伯
京都市上京区御前通仁和寺街道下ル西上之町254-4
tel：075-463-6627
営業時間：午前9時～午後6時　店休日：日・祝日

JA京都市 絆づくり

熟練の技術で磨き上げた夏野菜が勢ぞろい!

JA京都市presents 夏季農産物品評会

「天神さん」でお馴染みの北野天満宮。JA京都市では毎年7月にこの地で「夏季農産物品評会」を開催しています。品評会は管内生産者の栽培技術向上を目的とし、出品野菜の出来栄えを競い合うもので、多い時には1000点近い農産物の出品があります。

出品野菜は大学教授をはじめとする審査員が、その出来栄えを審査し、特に優秀と認められた農産物生産者に特別賞が授与されます。7月8日の品評会には「長なす」や「枝豆」といった夏野菜など、計793点が出品されました。

品評会終了後には、一般消費者へ出品野菜を販売し地元農産物のPRに繋げました。

REPORT：展示・販売会／京都ポルタ

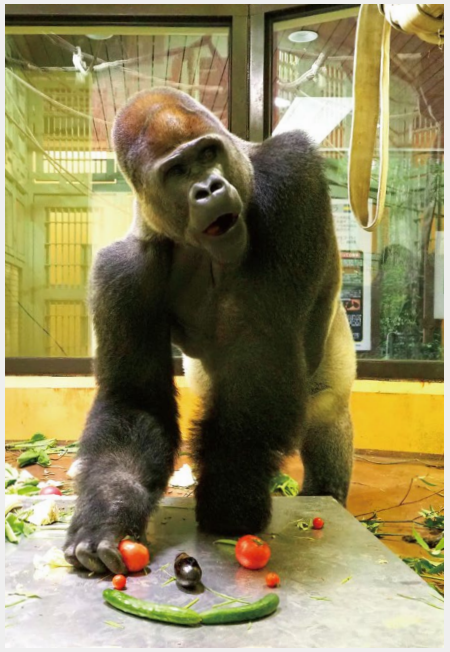
特別賞受賞野菜19点を京都駅地下街「京都ポルタ」で展示。大勢の来場者が会場に訪れました。

京都府知事賞 受賞

品評会の翌日には、「京都駅地下街京都ポルタの中央通り」のスペースを活用し、特別賞受賞野菜を展示して来場者に市内農産物の魅力を発信しました。

JA京都市の 挑戦

【JA京都市×京都市動物園】ロス野菜を動物園に寄付



動物園内 熱帯動物館に看板を設置

リンクするJA京都市と京都市動物園の思い

2021年7月からJA京都市は、規格から外れた野菜を京都市動物園に寄付してます。

京都市動物園への寄付活動は、都市農業のあり方の一つといえます。エサの提供という財政的な支援だけでなく、市内の子どもや大人が多く集まる動物園の運営に役立つという意味では、農業と市民の交流、農業を通した地域貢献といった要素も満たしています。

また、京都市動物園でも廃棄食材の寄付を呼び掛けたり、象やシマウマの糞を肥料にするなど、SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」(＝持続可能な方法で生産し、責任をもって消費する)に準じる活動にも力を入れており、同じ京都市を拠点として、持続可能な地域の未来に対して共通する思いを持つ団体が、野菜を通してつながることになりました。

看板にいる京香さんを探しにきてね!

小松菜やキュウリなどを毎月寄付してます

JA京都市のおすすめ

RECOMMEND

GOOD NATURE 夕市

信じられるものだけを、美味しく、楽しく。

人も地球も元気にする

“GOOD NATURE”なモノ・コトが集まる場所

「GOOD NATURE STATION」

GOOD NATURE STATION

京都市下京区河原町通四条下ル2丁目
稲荷町318番6

※イベントなどの予定は予告なく変更・中止になる場合がありますので、予めご了承ください。

GOOD NATURE STATIONは、ビルまるごとサステナブルな施設で、売り場とオンラインショップそれぞれで、生産者や作り手を応援する企画を多岐に渡り実施しています。

「GOOD NATURE 夕市」は、1階広場の「MAENIWA」で、毎週木曜日夕方から開催しているマルシェです。

GOOD NATURE STATIONが掲げる独自の基準「5GOOD」で選んだ信頼できる生産者が育てた安心安全な野菜や果物などが並びます。

京都産の安心安全な野菜や果物を通し、作り手とお客様を繋ぐ場所となっている「GOOD NATURE 夕市」。

会社帰りや夕飯のお買い物にぜひお立ち寄りください。

Link vol.2
2022年8月発行

JA共済の地域貢献活動

HP Instagram

発行／JA京都市 総務企画部 地域振興課
〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24
TEL:(075)314-0898

FSC ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C004288